

● 世界の主な地震

令和 7 年（2025 年）8 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

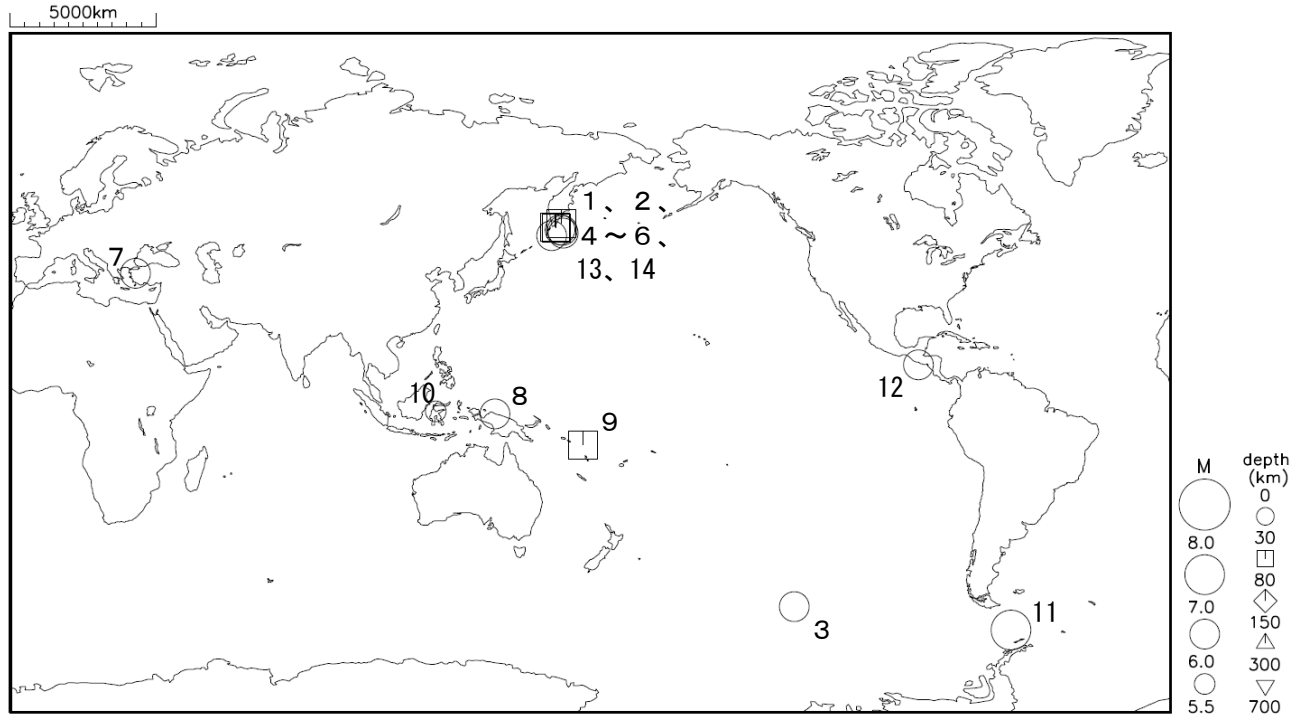


図 1 令和 7 年（2025 年）8 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 令和 7 年（2025 年）8 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北 西	遠 地
1	08月02日03時20分	N50° 12.5′	E159° 3.9′	10			6.1	千島列島東方			
2	08月02日23時14分	N51° 40.5′	E159° 25.5′	46			6.0	ロシア、カムチャツカ半島東 方沖			
3	08月03日13時57分	S55° 11.9′	W128° 40.6′	10			6.3	太平洋－南極海嶺			
4	08月03日14時37分	N50° 35.1′	E157° 51.8′	30			6.8	千島列島		○	○
5	08月04日13時20分	N48° 48.4′	E156° 27.4′	10			6.2	千島列島東方			
6	08月09日23時04分	N50° 3.5′	E159° 46.0′	10			6.0	千島列島東方			
7	08月11日01時53分	N39° 19.3′	E 28° 5.7′	9			6.1	トルコ	死者 1 人など		
8	08月12日17時24分	S 2° 3.4′	E138° 58.3′	10			6.3	インドネシア、イリアンジャ ヤ		○	
9	08月15日01時22分	S11° 38.1′	E166° 10.2′	31			6.3	サンタクルーズ諸島			
10	08月17日07時38分	S 1° 16.9′	E120° 43.6′	8			5.8	インドネシア、スラウェシ	死者 2 人など 津波観測 0.02m（アンパ ナ）		
11	08月22日11時16分	S60° 11.1′	W 61° 49.2′	11			(7.5)	ドレーク海峡	津波観測 0.13m（ブラット 基地）		○
12	08月23日18時14分	N13° 4.5′	W 90° 21.6′	10			6.0	グアテマラ沿岸			
13	08月25日15時48分	N49° 23.5′	E160° 2.1′	10			6.1	千島列島東方			
14	08月27日12時49分	N50° 49.4′	E157° 29.7′	53			6.0	千島列島			

・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Search Earthquake Catalog”
(<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による (2025 年 9 月 1 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要
素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは気象庁による。Mw の欄に下付
きで「G」を付して記載したモーメントマグニチュードは、Global CMT による。

・被害状況は、出典のないものは OCHA (UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs : 国連人道問題調整事務所、2025
年 9 月 1 日現在) による。

・地震発生時刻は日本時間 [日本時間＝協定世界時＋9 時間] である。

・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA) (※) を発表したことを表す。
※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」(<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/joho/nwpta.html>) 参照。

・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

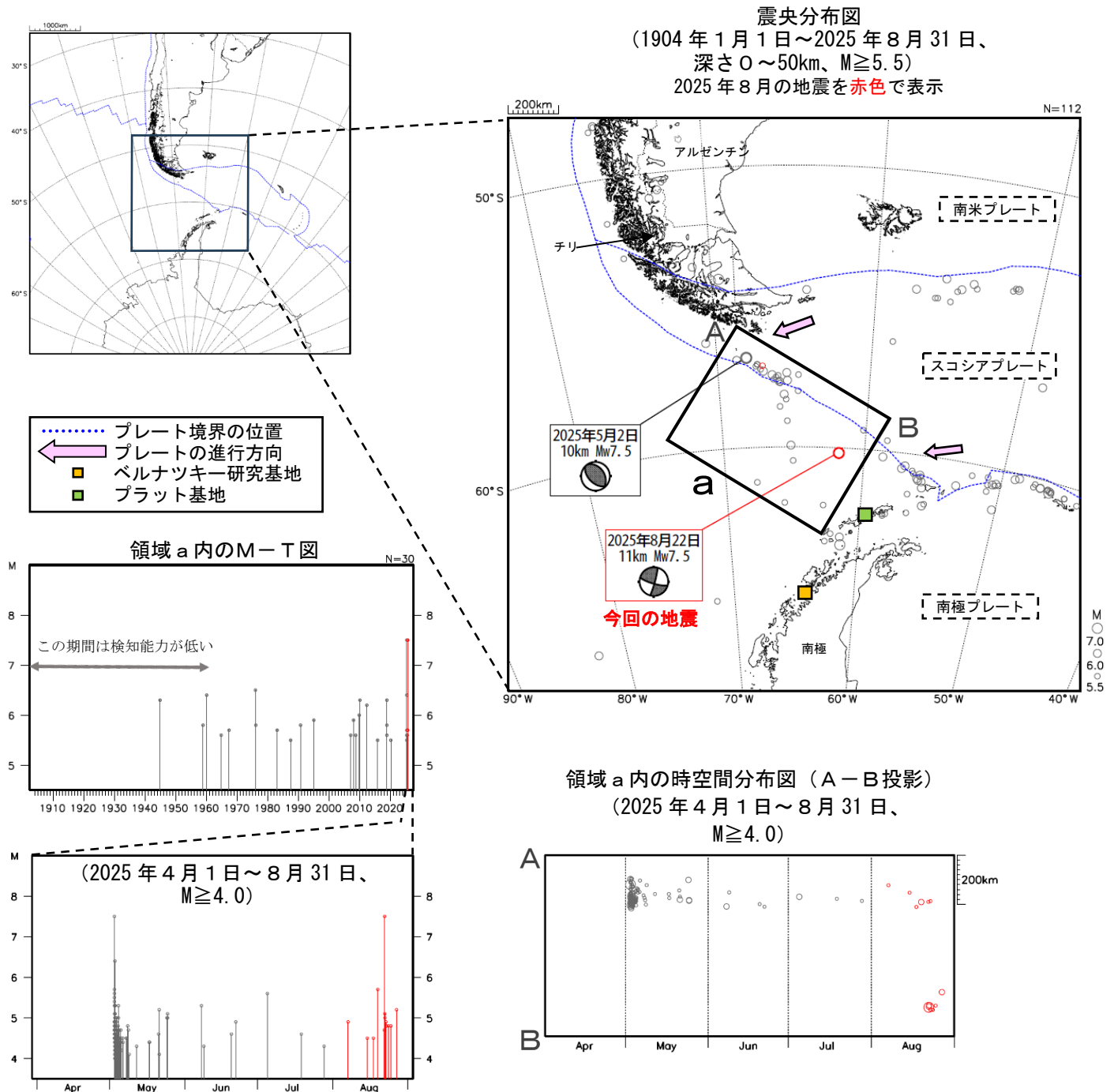
・海外の津波の観測値は、米国海洋大気庁(NOAA; National Oceanic and Atmospheric Administration)による (2025 年 9 月 1 日現
在)。

8月22日 ドレーク海峡の地震

2025年8月22日11時16分（日本時間、以下同じ）にドレーク海峡の深さ11kmでMw7.5の地震（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震は南極プレート内で発生した。発震機構解（気象庁によるCMT解）は東北東-西南西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。気象庁は、この地震について同日11時46分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。この地震により、プラット基地（グリーンウィッチ島）で0.13mの津波を観測した。

2025年5月2日にはMw7.5の地震（Mwは気象庁による）の地震が発生し、ベルナツキー研究基地（ガリンデス島）で0.14mの津波を観測した。

1904年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生しているが、M7.0以上の地震はほとんど発生していなかった。



※震源要素は、2021年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12(1904-2021)、2022年以降は米国地質調査所(USGS)による(2025年9月1日現在)。ただし、2025年5月2日及び2025年8月22日の地震の発震機構及びMwは気象庁による。津波の高さは米国海洋大気庁(NOAA)による(2025年8月31日現在)。被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird(2003)^{*1}より引用。

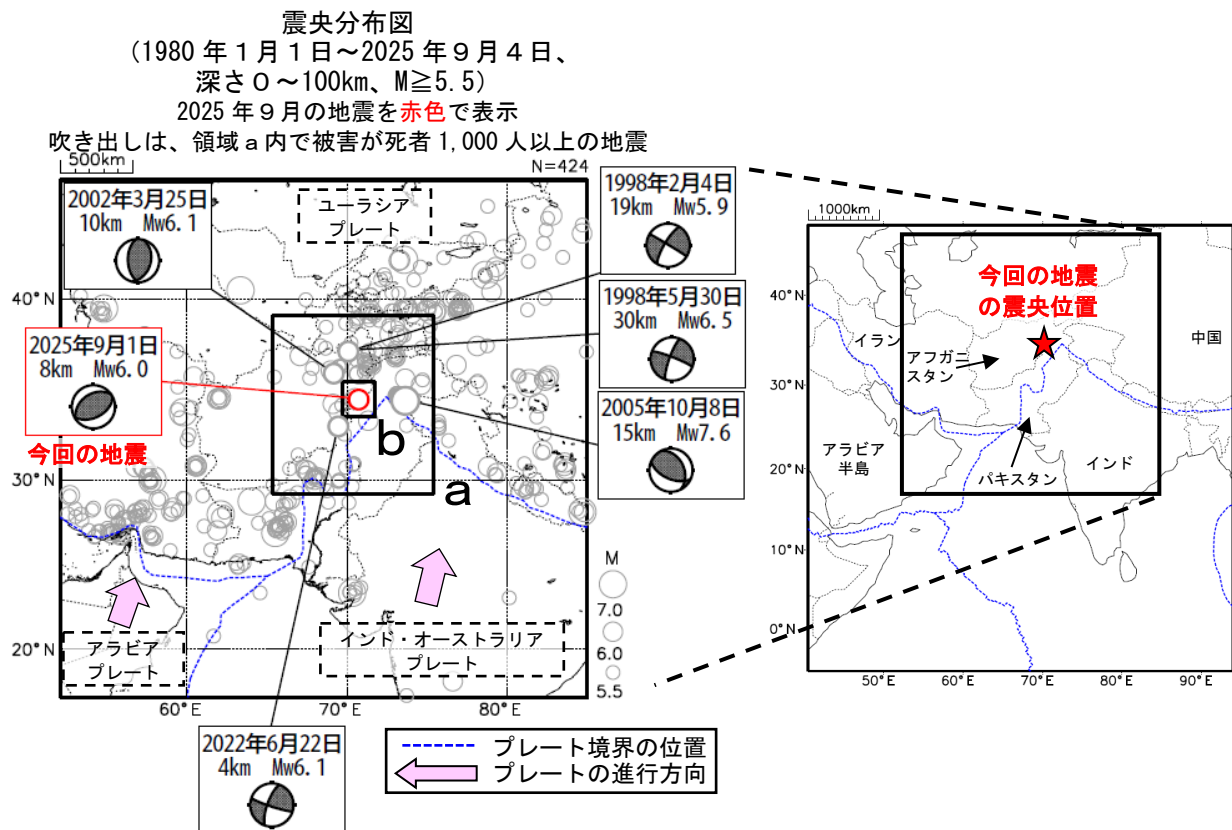
^{*1}参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

9月1日 アフガニスタン南東部の地震

2025年9月1日04時17分（日本時間、以下同じ）にアフガニスタン南東部の深さ8kmでMw6.0の地震（MwはGlobal CMTによるモーメントマグニチュード）が発生した。この地震の発震機構（Global CMTによる）は北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。今回の地震により、死者2,205人以上、負傷者3,640人以上などの被害が生じた（被害は、2025年9月8日現在、国連人道問題調整事務所による）。

今回の地震の震央周辺は、北側にあるユーラシアプレートに対して、南側にあるインド・オーストラリアプレートが北北東方向へ移動して衝突している地域であり、地震活動が活発な地域である。

1980年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生している。2005年10月8日にはMw7.6の地震が発生し、死者86,000人以上などの被害が生じた。2022年6月22日にはMw6.1の地震が発生し、死者1,036人などの被害が生じた。



※震源要素は、2021年まではISC-GEM Global Instrumental Earthquake Catalogue Version 12(1904-2021)、2022年以降は米国地質調査所(USGS)による(2025年9月5日現在)。ただし、吹き出しを付けた地震の発震機構及びMwはGlobal CMTによる。地震の被害は、今回の地震と2022年6月22日の地震の被害は、OCHA(UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs:国連人道問題調整事務所、2025年9月8日現在)、2005年10月8日の地震の被害は理科年表、その他の地震は宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置はBird(2003)^{*1}より引用。

^{*1} 参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.